資料９

令和４年度　鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（西部地区）　議事要旨

日　時：令和４年 11 月 29 日（火）14 時 30 分～16 時 00 分
場　所：鳥取県西部総合事務所 本館２階 第２会議室

（１）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

○西部沿岸において実施されているサンドリサイクルの実績や効果、また海岸の状況等についての考察が報告された。

＜主な意見＞

○両三柳工区は、皆生漁港内への堆積土砂や当工区への養浜量が近年減少している傾向であることを踏まえると、海岸として安定傾向であると考えられる。

○日野川からの土砂供給量が減少しており、施設改良を行っても一時的・部分的に汀線後退が発生することがあるため、総合土砂管理の観点から検討が必要であり、サンドリサイクルでバランスを整えることは引き続き必要である。

（２）各管理者の土砂管理への取組

■日野川河川事務所の取り組み

○富益工区の人工リーフの改良及びサンドリサイクルの状況報告が行われるとともにその周辺海域の汀線変化状況の説明が行われた。皆生工区と富益工区における令和 4 年台風 14 号の被害及びその対応状況の報告が行われた。日野川における総合土砂の取組状況の報告が行われた。

○台風 14 号により富益工区の 1 号人工リーフ背後に浜崖が発生したため、今後、現地の状況に応じ養浜を検討することとしたい。

＜主な意見＞

○本会議では、主に防護の観点から砂浜のモニタリングをしているが、今後は利用の観点も取り入れ、評価を検討することとしてほしい。

＜申し合わせ事項＞

○河道内の置土にかかる設置位置などの考え方や流出効果などの結果について、今後報告が行われることとなった。

■境港公共マリーナの土砂堆砂対策について

○マリーナにおける土砂堆砂対策の取組み、堆積土砂及びその浚渫量の推移の説明が行われた。近年の取組や境港港湾計画改定の概要の説明が行われた。

＜主な意見＞

○海岸構造物を整備することで人工的に離岸流を作り出している面もあるため、もう少し利用の観点を取り入れながら、海岸保全を実施していく必要があると考えている。

（３）事務局からの報告事項

■気候変動に伴う海岸保全基本計画の見直しについて

○気候変動に伴う海岸保全基本計画の変更について、現状や今後の見通しの報告が行われた。

＜申し合わせ事項＞

○海岸保全基本計画の見直しを行うにあたり、今後どこの観測局の潮位データを利用するのか整理し、検討することとした。

■サンドポンプの試験施工の結果概要について

○令和 4 年 11 月に浦富海岸で実施された鳥取方式のサンドリサイクル工法について、試験施工の概要と結果の報告が行われた。

■グリーンレーザー計測の有用性に関する研究について

○令和 3 年度に陸上海岸で行われた UAV グリーンレーザー測量の実証実験について、概要と結果の報告が行われた。

■人工衛星データを用いた砂浜の変化観測について

○令和 4 年 11 月から鳥取大学と鳥取県で共同実施する人工衛星データを用いた砂浜の変化観測業務について、その取組内容とデータ活用方法等について報告が行われた。